

# Kansai University School Internship Program 2024

学校インターンシッププログラムのご案内  
～インターンシップ生の受け入れについてのお願い～



関西大学

## 関西大学『学校インターンシップ』のご案内

本学では高大連携事業の一つとして、大学生が教育現場で就業体験を積む「学校インターンシップ」を行っております。本学学校インターンシップ事業は、2024年度で22年目を迎えました。本事業は、2005年度文部科学省「特色GP」に採択され、先端的な取組として評価されましたが、それ以降も学校・園のご協力を得て、また学内で行う事前事後の指導等に工夫を加えながら、毎年改善を重ねて取り組んでいます。

本学の学校インターンシップは大学教育のカリキュラムに組み込まれた授業科目の一つとして位置づけられています。つまり単に「教育現場での就業活動」を行うだけではなく、「内定者オリエンテーション」「ビジネスマナー講座」「教職キャリアデザイン講座」「事後報告会」とのパッケージにより教育効果を高めています。また単位認定のための受入学校・園での最低実働時間も設けています。さらには「研修報告書および業務日報」の提出を義務付けており、日報には受入校担当者のサインが必要です。このような点において、本インターンシップは学生が自主的な活動としておこなうボランティアとは本質的に異なる活動です。教職を将来の職業に考えている学生にとって、改めて教育現場を体験することは、その後の大学での学びや職業意識の向上に大きな効果が得られると期待しています。教育は将来の社会のあり方を自ら創造することのできる能力を子どもたちに育む活動です。したがって、教育活動は学校現場のみで行われるものではなく、社会全体で担うべき活動です。本学学校インターンシップが教職を目指す学生だけではなく全ての学生を対象としているのは、学生が社会に出る前に教員でもなくまた生徒でもない立場で教育現場を見つめ直し、自身や社会が教育とどのように関わっていくかを考える機会を提供したいと考えるからです。そのような本学の学校インターンシップの趣旨にご賛同賜り、未来の社会を担う学生の教育および将来の教員たる資質の向上と涵養にご支援くださいますようお願い申し上げます。

関西大学 社会連携部

高大連携センター長 稲田 貢

### 学校インターンシップ 2024

## CONTENTS

1	プログラム概要	1
2	実施スケジュール	2
3	2023年度の実績	4
4	研修事例	5
5	受け入れに関するQ&A	8
6	参考資料(関連書類の様式)	10

# 1

# プログラム概要

## 目的

学生が学校・園の日常的な教育活動、課外活動などを幅広く実地体験することを通して、自己の適性を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識を向上させることを目指します。

## 研修生

本学学部生・大学院生(意欲と動機が明確で、誠実に取り組むことができる者を選考いたします)。  
※原則として、学年・学部・教職希望の有無など、特定の条件は設けておりません。

## 受け入れ

本学では学校インターンシップを大学教育の中に位置づけて単位認定をしておりますので、①実施期間は**8月上旬～12月中旬**、②研修時間は**総計36時間以上**、③学年暦による時期の制約の3点についてご配慮いただきますようお願いいたします。実施期間の詳細は、受入学校・園にて個別に設定していただけます。

### 実施期間

### **2024年8月上旬～12月中旬**

(例)短期連続型：2024年8月上旬～9月中旬の間、連続6日間など

(例)長期型：2024年9月下旬～12月中旬の間、毎週特定曜日1日など

### 研修時間

### **総計36時間以上**

※上限は設けておりません。インターンシップ生と個別にご相談ください。

### 本学 学年暦

春学期試験期間：7月23日(火)～7月30日(火)

夏季休業期間：8月1日(木)～9月20日(金)

秋学期授業開始：9月21日(土)

※受入期間を設定される際、参考にしてください。

## 業務 (研修内容)

インターンシップ期間中の業務(学生の研修内容)については、受入学校・園で設定してください。  
**例**：学校行事(運動会・文化祭など)の補助、授業補助、クラブ活動・図書室運営・教材作成の補助など

本プログラムをより一層充実したものにするため、複数の業務内容を組み合わせていただくなど、ご配慮いただければ幸いです。

## 費用

インターンシップ期間中の労働への対価は必要ありません。交通費につきましては、本人が負担(一部本学で補助)いたします。

## 守秘

インターンシップ期間中に知り得た受入学校・園および関連機関などの機密事項と在校生の個人情報取り扱いに関しては、インターンシップ生より守秘義務に関する「誓約書」(P.11参照)を提出いたします。

## 事故補償

本学の責任によりインターンシップ生を学研災付帯賠償責任保険に加入させ、これを適用します。

### ▶対人賠償と対物賠償あわせて **1事故につき1億円限度**

## 事前と事後 の指導

インターンシップ生には、ビジネスマナーや学校現場での心構えに関する事前講座の受講を義務づけております。また、インターンシップの成果を振り返るための事後報告会を実施しております。

## その他

昨今、就職活動やインターンシップ等において、個人情報の私的流用に起因するトラブルが発生しております。インターンシップ生と、本プログラムに関連のない私的な連絡等を取り合うことのないようお願いいたします。



# 2

## 実施スケジュール

※各行事の開催日時は変更することがあります。

3月

学校・園(教育委員会)

Webエントリーを開始(本パンフレット到着時から)します。  
WebエントリーシステムへアクセスいただくにはID・パスワードが必要ですので、P.3をご参照のうえ、申請してください。

4月

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校・園向け募集説明会 (Zoom開催・後日オンデマンド配信)

4月10日(水) 16:30~17:30

受け入れをご検討いただいている学校・園、教育委員会の先生方を対象とした説明会を開催します。説明会への参加を希望される場合はHP又はP.13の申込書にてお申込みください。

学校・園(教育委員会) 大学

Webエントリーシステム利用ID・パスワード申請締切 4月18日(木)

学校・園(教育委員会) 大学

Webエントリー締切 4月20日(土)

受入期間や研修内容を決定のうえ、期日までにWebエントリーシステムにご登録ください。

学生

募集説明会 5月7日(火)~5月10日(金)

学校インターンシップを希望する学生に、募集説明を行います。

学生申込み締切 5月20日(月)

大学 学生

派遣学生の選考・内定 5月20日(月)~6月2日(日)

本学学校インターンシップ担当教員が申込者の書類審査・面接を行い、派遣学生を内定します。

5月~6月

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校・園へ内定者を通知 6月初旬

派遣内定学生の氏名、志望動機などを記載した「個人票」を受入学校・園に郵送し、学生が希望している研修内容や期間をお知らせします(P.10参照)。

学校・園(教育委員会) 大学

派遣に関する覚書の締結

本学と受入学校・園との間で、学生派遣に関する「覚書」(P.10④参照)を締結します。その後、インターンシップ生の守秘義務についての「誓約書」(P.11⑤参照)を本学から受入学校・園へ郵送します。

学生

事前講座①

内定者オリエンテーション 6月12日(水)

6月～7月

## 学 生

### 事前講座②

#### ビジネスマナー講座 6月26日(水)

学校現場でのインターンシップの意義、心構え、必要なマナーなど事前指導を徹底します。

学校・園(教育委員会)

学 生

#### 受入学校・園による面談 6月28日(金)～7月下旬

内定した学生が、6月27日(木)から1週間以内に受入学校・園へ電話連絡をし、訪問(面談)のアポイントを取ります。学生からの連絡がありましたら、受入可否を決定いただくための「面談」をお願いします。

## 学 生

### 事前講座③

#### 教職キャリアデザイン講座 7月3日(水)

インターンシップ生の受入経験がある学校・園、教育委員会の先生による講演や、学生によるグループワークを行います。

学校・園(教育委員会)

大 学

学 生

### 学校インターンシップ実施

#### 実施期間 8月上旬～12月中旬

※インターンシップ生には、「業務日報」(P.11⑦参照)と「研修報告書」(P.11⑧参照)の提出を義務づけています。講評欄へのアドバイス・意見の記入をお願いします。

※学校・園での総研修時間が36時間以上となるよう実施してください。

8月～12月

学校・園(教育委員会)

大 学

学 生

### 事後報告会

9月20日(金) 16:20～17:50(原則として9月20日までに研修を終了した学生対象)

12月18日(水) 16:20～17:50(上記以外の学生対象)

インターンシップ生の代表者による研修報告のほか、研修の総括としてグループ討論を予定しています。受入学校・園の先生方もアドバイザーとしてぜひご参加ください。

## 大 学

#### 学校インターンシップ研修に関する単位認定

全研修終了後

# 受入申込みについて

学校インターンシップ  
受入学校・園のお申込み



本学の学校インターンシップは、Webエントリーシステムを利用してお申込みいただいております。

### ◆Webエントリーシステム利用ID・パスワードの申請方法

本学学校インターンシップ専用HP『受入学校・園のお申込み』のページ(<https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/application/index.html>)にある「学校インターンシップWebエントリーシステム利用ID・パスワード申請申込みフォーム」に必要事項をご入力いただくか、P.12の申請書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。お申込み後、1週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センターまでご連絡ください。

# 3

# 2023年度の実績

## 受入申込学校・園の校種別の数値

	受入申込校数【実】	受入可能人数	派遣校数【実】	派遣人数
高等学校	20	80	11	22
中学校	28	122	15	22
小学校	31	102	8	9
幼稚園	2	12	0	0
合計	81	316	34	53

## 派遣学生の学部・年次別の内訳

学部	派遣人数
法学部	3
文学部	25
経済学部	2
商学部	2
社会学部	3
政策創造学部	1
外国語学部	1
人間健康学部	1
総合情報学部	0
社会安全学部	0
システム理工学部	10
環境都市工学部	0
化学生命工学部	4
大学院	1
合計(派遣人数)	53

年次	派遣人数
1年次	14
2年次	19
3年次	18
4年次	1
大学院生	1
合計(派遣人数)	53

## 派遣先学校・園一覧

大阪府立大阪ビジネスフロンティア  
高等学校  
大阪府立桜和高等学校  
大阪府立市岡高等学校  
大阪府立狭山高等学校  
大阪府立渋谷高等学校  
大阪府立高槻北高等学校  
大阪府立富田林高等学校  
大阪府立夕陽丘高等学校  
清風南海中学校高等学校  
神戸龍谷中学校高等学校  
京都明德高等学校

大阪市立天満中学校  
大阪市立東三国中学校  
吹田市立豊津中学校  
高槻市立城南中学校  
高槻市立第三中学校  
豊中市立第一中学校  
豊中市立第十三中学校  
豊中市立第十六中学校  
豊中市立第十八中学校  
守口市立樟風中学校  
八尾市立成法中学校  
京都市立下京中学校

長岡京市立長岡中学校  
長岡京市立長岡第二中学校  
常翔学園中学校  
大阪市立新高小学校  
堺市立新檜尾台小学校  
吹田市立青山台小学校  
吹田市立南山田小学校  
豊中市立豊島北小学校  
豊中市立南丘小学校  
豊中市立緑地小学校  
長岡京市立長岡第九小学校

# 4 研修事例

過年度の研修事例を紹介いたします。なお、「インターンシップ生の声」は学生が提出した「研修報告書」の内容から抜粋しています(学年は研修時のものです)。

## 短期連続型

### 事例① 幼稚園

**期 間** 9月1日～9月11日の間、9日間(総研修時間約47時間)

**研修内容** 保育の補助、教材準備の手伝い 等

**インターンシップ生の声** 経済学部 3年次生

今回の研修では、3歳児・4歳児・5歳児それぞれのクラスを3日間ずつ担当しました。最初に4歳児クラスを担当した際に園児に細かく指示してしまいましたが、園児が自分で気づくように先生方が指導していた様子を見て、園児自ら考える力を引き出すことが重要であると感じ、翌日の研修からはそういったことに気を付けて接しました。年齢が違えば、体の大きさはもちろん話す力や理解する力等の能力も違ってきますが、同じ年齢の園児でもそれぞれ個性があり個々の差があります。研修を通して、園児と過ごすことで、園児が自立し成長できるように援助するためには、それぞれの個性を理解して信頼関係を築いていくことが大切だということ学びました。

### 事例② 小学校

**期 間** 9月7日～9月18日の間、10日間(総研修時間約50時間)

**研修内容** 児童の学習補助、体育指導の補助

**インターンシップ生の声** 文学部 2年次生

私は今回の研修で、主に児童の学習支援や体育の授業補助を行いました。その中でも先生の指示が通らなかつたり、学習進度のゆっくりな児童を支援することが多くありました。研修を通して私が率直に感じたことは、「学校」という場所がとても好きだということです。先生や児童の声が響きわたる教室や昼休みになるとにぎやかになる運動場等、私が当時通っていた小学校を想起させるものばかりで、研修期間中は辛いとかしんどいといった負の感情を抱くことはありませんでした。学校インターンシップという立場上、できることは限られていますし、実際の教員の仕事の一部分を体験したにすぎませんが、毎日の研修がとても楽しく充実していて、密度の高い貴重な経験をすることができました。今後も教員になるために勉学に励んでいきたいです。

## 長期型

### 事例③ 中学校

**期 間** 8月31日～10月26日の間、週1日程度(総研修時間約71時間)

**研修内容** 授業準備の補助、授業での見守り 等

**インターンシップ生の声** 文学部 3年次生

今回の研修では、各教科の授業や朝と放課後のホームルーム活動、道徳の授業、課外活動を見学しました。教科の授業ではiPad等の電子機器を活用し、より分かりやすい授業を行うために様々な工夫をされていることが分かりました。ホームルーム活動では、毎回の小テストや模試の対策を行っているところを見学し、学校全体で積極的に勉強に取り組んでいることが分かりました。道徳や課外活動では、主に働くことについて学んでいる様子や文化祭の準備を見学し、生徒と一緒に自分自身も学ぶことができました。また、生徒や先生方との交流を通して、生徒との距離感について考えることができ、先生方からは有意義な情報を得ることができました。今回の研修を通して、様々な体験をさせていただき、多くのことを学ぶことができました。それと同時に、教師をめざすにあたり自分に足りていない技術や心の持ち方を再認識することができました。今回学んだことや反省点をまずはもう一度振り返り、教育実習や今後教師を目指す中で活かしていきたいと思えます。

### 事例④ 高等学校

**期 間** 8月19日～12月11日の間、週2日程度(総研修時間約174時間)

**研修内容** 授業見学、放課後の自習補助 等

**インターンシップ生の声** 文学部 3年次生

今回のインターンシップでは、授業見学、生徒指導見学、放課後の自習の補助等を中心に、非常にたくさんの経験ができました。このインターンシップに参加するにあたって、私は「積極的に生徒と関わりを持つ」「1日1つ新たなことを学ぶ」「楽しんで取り組む」という目標を立てていました。一つ目の「積極的に生徒と関わりを持つ」については、休み時間に生徒の話の中に混ざったり、すれ違う時に必ず挨拶をするということを繰り返すうちに、勉強以外にも部活動のことや今流行っているもの等、様々な話をしてくれるようになりました。二つ目の「1日1つ新たなことを学ぶ」については、授業の進行の仕方や生徒指導での叱り方等、その日特に着目する点を決めて取り組むことで、毎日新たな学びを得ることができたと思います。三つ目の「楽しんで取り組む」については、しっかり達成できたと感じています。教員の仕事の過酷さや大変さというものを改めて感じましたが、実際の現場を経験することで、たくさんの学びがありました。課題点は、何よりも指導力のなさだと思いました。生徒からの質問に対して、すぐに答えられない、上手く伝えられないということが何度もありました。また、生徒指導での注意の仕方や叱り方等、身につけなければならないものが多くありました。今回学んだことを教育実習、そして実際に教員になってからも活かしていけるよう努力したいと思えます。



# 研修期間中の業務内容を紹介

インターンシップ生は、自身が研修・体験した業務内容を1日ごとに「業務日報」に記録し、その日学んだことや反省したことの振り返りを行います。

その業務日報をもとに、どのような振り返りを行っているのか紹介します。

**研修期間** 9月1日～9月14日 [短期連続型研修] **研修先** 中学校

**研修内容** 授業見学・補助、部活動指導補助



## 9月1日 研修1日目

8:00	登校
8:20～	先生方へ挨拶・自己紹介
8:30～	全校放送による生徒への挨拶
8:45～	校内案内・打合せ
9:45～	授業見学(1年社会)
10:45～	授業見学(1年理科)
11:45～	授業見学(1年国語)
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学(1年英語)
14:20～	授業見学(1年英語)
15:15～15:40	掃除、ホームルーム
16:00	下校

初日に先生方と生徒へ自己紹介させていただいたので、その後のコミュニケーションが取りやすくなりました。

校舎内の配置や教室の場所などが分からないので、先生に案内していただきとてもありがたかったです。

### 今日、学んだことや所感

1日目ということで緊張のあまり先生方について行くだけとなり、逆に邪魔になってしまったのではないかと心配しています。先生方は親切で、生徒たちは皆明るく、すれ違えばあいさつしてくれる生徒ばかりで安心しました。今日は実際に何かをやるということではなく、校内を案内していただいたり、生徒の様子を見ることで終わったので、次回はもっと積極的に行動できればよいと思いました。



### 今日、学んだことや所感

今日から、学校に来る生徒たちに校門であいさつすることになりました。みんながあいさつを返してくれるのが嬉しかったです。これをきっかけに私の顔を生徒たちに覚えてもらいたいと思いました。また、今日から部活動にも参加させていただきました。久しぶりに体を動かすので緊張しましたが、しっかりと技術指導補助ができてよかったです。

## 9月4日 研修2日目

8:00	登校
8:15～	校門であいさつ運動
	先生方へ挨拶・職員会議
8:45～	授業見学(1年英語)
9:45～	授業見学(1年理科)
10:45～	授業見学(1年英語)
11:45～	授業見学(1年国語)
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学(1年国語)
14:20～	授業見学(1年社会)
15:15～15:40	掃除、ホームルーム
16:00～	バレー部指導補助
18:15	下校

様々な授業の見学ができて、指導方法など、とても参考になりました。

部活動に参加することによって、担当クラス以外の生徒と交流することができました。



## 9月11日 研修6日目

8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業見学(1年英語)
9:45~	授業の準備(プリント印刷)
10:45~	授業見学(2年英語)
11:45~	授業の準備(プリント印刷)
12:35~	昼休み
13:20~	授業見学(1年英語)
14:20~	授業見学(2年英語)
15:15~15:40	掃除、ホームルーム
16:00~	バレー部指導補助
18:15	下校

授業をする以外にも、先生方には膨大な事務作業があることを知りました。

英語の先生を目指しているので、同じ科目で異なる学年やクラスの授業見学はとても参考になりました。



### 今日、学んだことや所感

今日は4人の英語の先生の授業を見学させていただきました。先生によって進め方や指導方法が違ってとても勉強になりました。授業で工夫している点などは、教育実習で実践してみたいと感じました。また、授業の準備としてプリント印刷をさせていただいたのですが、普段、授業をしながらこのような準備をされていることに気づき、改めて先生の大変さを実感することができました。

### 今日、学んだことや所感

英語の問題で悩んでいる子に声をかける時に、どこまでヒントや説明で、どこからが答えになるのか迷いました。理解できない箇所もそれぞれですし、理解の深さもそれぞれなので、どの程度まで手助けをしていいのか悩みました。今日は、放課後学習に参加しました。英語と数学に取り組みましたが、伝え方、学習の進め方をもっと工夫して、楽しく、集中力を長く保てるようにしようと思いました。今日は考えることや、次回への課題が多い1日でした。

## 9月13日 研修8日目

8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業補助(1年英語)
9:45~	授業補助(1年英語)
10:45~	授業補助(2年英語)
11:45~	授業補助(2年英語)
12:35~	昼休み
13:20~	授業で回収したプリントの丸つけ ホームルームで配布するプリントの作成
15:15~15:40	掃除、ホームルーム
16:00~	放課後学習指導
18:15	下校

研修の後半からは、授業補助もさせていただくようになりました。教えることの難しさを改めて実感しました。

受入学校・園全体がインターンシップ生について理解してくださるよう、事前にインターンシップ生が来ることをご周知いただいたり、先生方や生徒の前で挨拶する機会を設けていただければ、学生たちは活動しやすくなります。また、研修内容が同一でも、異なるクラスや学年を担当することは、とても参考になるようです。

インターンシップ生は、教員の業務のごく一部しか知らないことが多いため、授業補助のほかに、担任業務や進路指導業務、図書室業務、資料整理など、教員の多岐にわたる業務を経験することは、とても良い経験になります。受入学校・園とインターンシップ生の要望が合致すれば、予定されていた研修以外の内容を組み込んでいただいても結構です。

双方にとって、実りのある機会にさせていただければ幸いです。

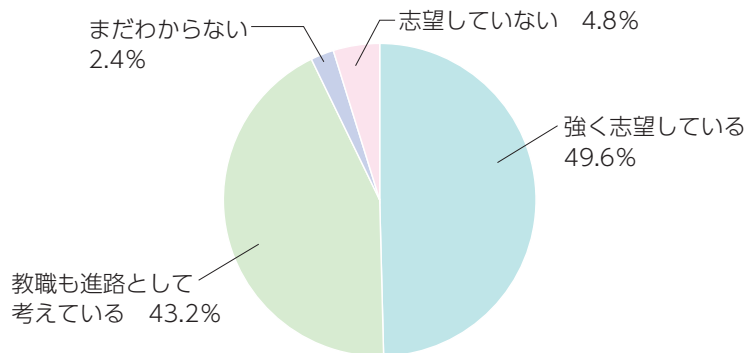
# 5

# 受け入れに関するQ&A

**Q** 学校インターンシップを希望する学生はどのようなタイプの学生が多いのですか？

**A** 教職を希望する学生が大半です(グラフ1)。本学は、1年次生から学校インターンシップに派遣しています。中には、自分は教員として適性があるのかと進路に迷っている学生もいます。一方で学校インターンシップを体験して教職志望をしっかりと固めたという学生も多くいます。受入学校・園の先生方には、教員の仕事のさまざまな面を学生にご指導いただければ幸いです。教職以外の進路を考えている学生もいますが同様に指導いただきますようお願いいたします。

**グラフ1** 教職志望について



**Q** 受入学校・園と学生のマッチング作業は大学が行うということですが、受け入れる学生について、受入学校・園から要望を出すことはできますか？

**A** 受入申込み時に学校・園それぞれの方針にそって、受け入れたい学生について、「教職志望者」「学年」「学部」などの条件を入力できる欄を設けております。研修内容に応じた学部・学年の限定や部活動経験など、その他の条件がございましたらご入力ください。ただし、条件によって対象学生が限られますので、あらかじめご了承ください。

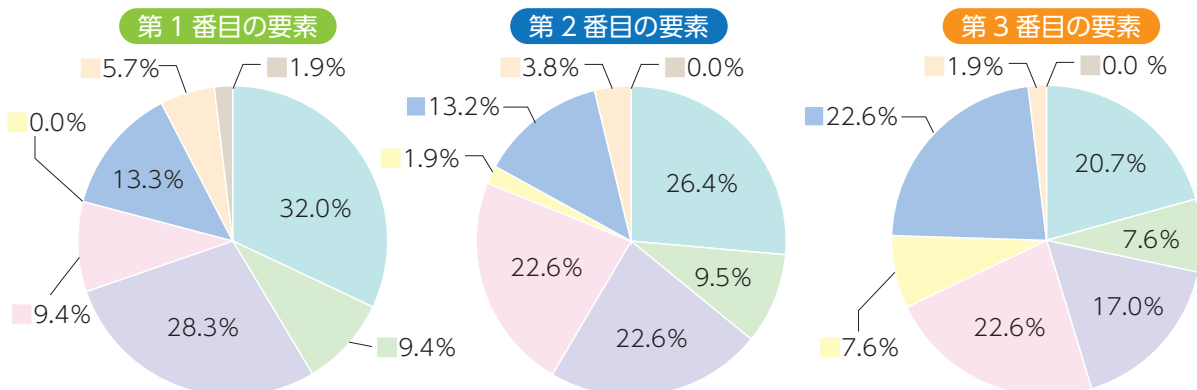
**Q** 学生はどのようにして研修先の学校・園を選ぶのでしょうか？

**A** グラフ2のとおり、学生が最も重視するのは研修内容(活動内容)です。事前指導で、学生には「学校現場を知ることが目的なので、さまざまな仕事を体験させてもらいなさい」と伝えております。

受入申込みにあたり、Webエントリーシステムに詳細な研修内容をご入力くださいますようお願いいたします。複数の内容を組み合わせていただいても結構です。

**グラフ2** 研修先を選択する際に考慮した要素

■ 研修内容
 ■ 研修先の魅力
 ■ 交通条件
 ■ 期間
 ■ 曜日・時間  
■ 学校種(幼稚園・小学校・中学校・高等学校など)
 ■ 出身校
 ■ その他



研修先を決定する第2・3番目の要素としては、研修内容のほかに交通条件、学校種、研修期間を重視していることがわかります。本学の授業の関係上、インターンシップ生の半数以上は、短期連続型での研修を希望します。しかし、教職志望が固まり、児童・生徒と長く接したいという学生も一定数います。

長期型の場合は、学業との両立が前提のため、曜日・時間は募集段階で確定いただくようお願いします(選択可能な複数の曜日・時間がある場合は、できる限り備考欄にその旨を明記願います)。派遣内定後の受入学校・園との面談で、学生とのスケジュールの調整が十分に行えず、スムーズに研修を行うことができなかったケースがこれまでにありました。

### Q 学生を受け入れる際に留意すべき点がありますか？

A 「受入担当者」をお決めください。学生には受入申込み時の情報をそのまま開示します。学生は、派遣内定後、研修前に受入学校・園を訪問し、受入担当の先生方に面談していただけます。

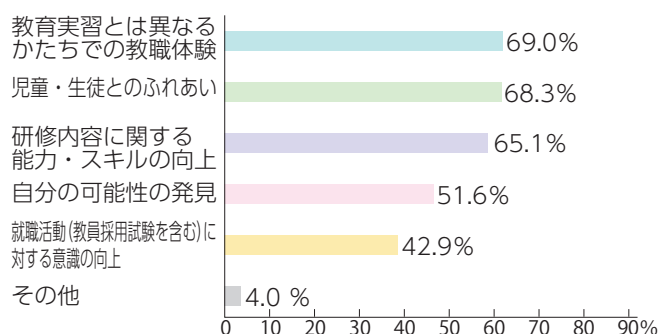
また、全研修終了後、学生はP.11の「業務日報」「研修報告書」を大学に提出します。その際、誠にお手数ですが、「研修報告書」に講評のご記入をお願いします。

### Q 学生が学校インターンシップに参加する動機は何でしょうか？

A 教育現場での就業体験が本プログラムの趣旨ですが、学生が最も期待していることは、教育実習とは異なるかたちでの教職体験です(グラフ3)。ひとりひとりが創意工夫を重ね、ほとんどの学生が学校インターンシップに手ごたえを感じて研修を終えています(グラフ4)。

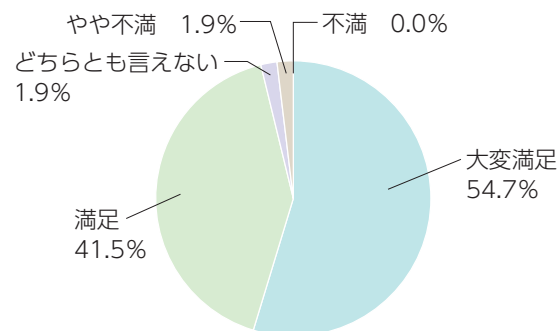
グラフ3

#### 学校インターンシップに期待していること (複数回答)



グラフ4

#### あなたは、今回の学校インターンシップ研修に満足していますか？



### Q 最も気をつけなければならないトラブルには、どのようなものが考えられますか？

A 学校・園には個人情報が多く存在しています。本学では、事前講座での指導のほか、学生から受入学校・園と大学にP.11の「誓約書」を提出させ、受入学校・園と大学との間でP.10の「覚書」を取り交わしています。例えば、トラブル回避のため、児童・生徒の成績等の個人情報を含むファイルが入っているパソコンは利用させない、あるいは、ファイルへのアクセス権を設定する等のご配慮をいただければ、双方にとっても安心して研修を進められると思います。

事前講座では、学生に対して、児童・生徒の学習レベル、容姿、身体、服装、学校の環境についての発言、気軽に言ったつもりの一言や親しみをこめたつもりの一言が相手を傷つける場合があることも指導しています。また、学生と特定の児童・生徒が親しくなり、電話番号やメールアドレス・SNS等を教えあうことのないよう指導しております。受入学校・園でも、ご指導をお願いします。

### Q 学校インターンシップ終了後に、引き続き学生に来てもらうことはできますか？

A 受入学校・園と当該学生との間で合意があれば、インターンシップ終了後も、研修外のボランティアとして学校・園のお手伝いをさせていただくことに支障はありません。ただし、学生には、大学にその旨を必ず報告するようにご指導ください。本学では、学生の活動を把握する趣旨から、学校インターンシップ後の学校ボランティアについても、原則として学生からの報告を求めています。



# 6

# 参考資料 (関連書類の様式)

## 大学から受入学校・園への送付書類について

### ① 内定通知

学校インターンシップ生受入ご担当者様 年 月 日

関西大学 社会連携部  
高大連携センター長

**学校インターンシップ生の内定について (ご通知)**

この度は、本学の「学校インターンシップ」プログラムにご尽力を賜り誠にありがとうございます。今年度の「学校インターンシップ」につきまして、申込書類と面接により選考を行った結果、別紙の学生を貴校に派遣することに内定いたしましたのでご通知申し上げます。つきましては、下記のとおり学生の受け入れに向けてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後やむを得ず本プログラムを中止とする場合がありますのでご了承のほどお願い申し上げます。

記

- 学生からの連絡について  
【連絡先】  
連絡先は、**学校インターンシップ受入ご担当の先生宛に9月9日(金)から1週間以内(土日祝除く)に電話連絡をするよう指導**しておりますので、前述の日時をご確認ください。なお、受入可否をご判断いただくことも含んでおりますため、7月中に設定していただければ幸甚に存じます。
- 面接について  
貴校にて面接の上、当該学生の受入の可否をご決定いただきますようお願いいたします。面接にて受入可否と二判断いただきまはる場合は、引き続き研修内容や曜日・時間などの細部を学生本人とお打ち合わせください。  
学生は、貴校の規則、教育方針をよく知り、研修中の服装等を含め留意点を確認するよう指示しております。ご参加のころお迎えいたしますが、とらふしてご指導くださいますようお願い申し上げます。  
【研修時間】**38時間以上確保いただく**とともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修内容に変更がある場合は、面接の前に学生本人にお伝えいたします。

以上

【別紙書類】  
① 派遣学生氏名と研修期間、研修内容 (別表) (※)  
② 派遣学生個人票  
個人情報保護の観点から今年度より住所を伏せてお送りしております。その他個人情報を含まれますので、お取り扱いのご配慮をお願いいたします。  
③ 学生派遣に関する覚書 2通 (※)  
④ 覚書送付封筒 1通

(※) ①「別表」及び③「学生派遣に関する覚書」について  
本学が「覚書」を「別表」に添付しております。内容を精査いただき、変更がなければ、「**覚書**」のご添付の**み**、**覚書は貴校で保管し、必ず1週は情報の削除にてご返送ください**。  
①「別表」に記載の研修期間に変更がある場合は、「別表」(※)に変更箇所を朱書きいただき、③「覚書」とともにご返送ください。  
なお、学生からは守秘義務に関する「誓約書」を徴して、後日、大学からお送りします。

【問合せ先】  
〒594-8686 大阪府吹田市山手町 3-3-35  
関西大学 社会連携部 高大連携センター  
TEL: 06-6368-1184 FAX: 06-6368-0858  
E-mail: koudai@kai.kansai-u.ac.jp

学生の派遣を内定後、内定通知および学生の受け入れに関する書類(①②③④)を大学から受入学校・園宛に郵送します。大学内での内定ですので、後日、受入学校・園で別途面談(打合せ)をしていただいた上で、受け入れの可否をご決定ください。

### ② 別表

(別表)

〇〇市立〇〇小学校 御中

関西大学 高大連携センター

以下の学生を関西大学学校インターンシップ研修生に内定いたしましたので、お知らせいたします。研修期間及び研修内容につきましては、受入申込時に入力いただいたものを記載しておりますが、学生との面接にて最終決定していただくものとします。また、研修期間に変更がある場合は、変更箇所を朱書きいただき、「覚書」とともにご返送くださいますようお願いいたします。

研修期間	研修内容	派遣内定学生	学生が特に希望する研修内容
【短期連続型/長期型いずれでも可】 (短期連続型) 8月上旬~12月中旬 10日間程度 (長期型) 8月上旬~12月中旬 週1日程度	・学級担任補助 ・支援の必要な生徒の補助 ・部活動指導補助 ・教材作成(プリント印刷等)の補助 ・研究発表会の補助	文学部 2年 関大 太郎	学級担任補助 支援の必要な生徒の補助

以上

派遣内定学生の氏名と特に希望する研修内容を記載しております。

### ③ 個人票

20XX年度 学校インターンシップ申込書 (個人票)

フリガナ	学部	学科	学号	学年	年
氏名	性別 ( )	生年月日 ( 年 月 日 )	写真貼付		
電話番号	写真裏面に学号番号と氏名を記入				
携帯番号					
E-mail					
出身高校	大学 ( )				
学部	高校 ( )				
資格					
特技					
就職課程	(就職希望希望教科: )				
学校インターンシップ経験の有無					
海外経験	期間: 年 月 ~ 年 月 ( 年 ヶ月 )				
自己PR					
①学校インターンシップを希望した理由 ②自分がめいたと思うこと ③自分ができそうだと思うことについて、できるだけ詳しく書いて下さい。					

※申込書(個人票)の記入内容につきましては、学校インターンシップに関する書類以外での使用は致しません。 裏に続く

学生の基本情報をお知らせいたします。学生の個人情報が含まれますので、取り扱いにはご留意ください。

### ④ 覚書

関西大学 学校インターンシップ実習生派遣に関する覚書

●●●●● (以下「甲」という。)と関西大学 (以下「乙」という。)、甲が乙の派遣する学生を、学校インターンシッププログラムによる実習生 (以下「実習生」という。)として受け入れることに關し、次のとおり覚書を締結する。

(実習生の派遣及び受け入れ)  
第1条 乙は、実習の実施にあたり、別表の学生を実習生として甲に派遣し、甲はこれを受け入れるものとする。

(実習生の受け入れ条件等)  
第2条 実習生の受け入れ条件等は別表に定める。

(実習生の服装及び守秘義務)  
第3条 乙は、実習生に対し、実習期間中、甲の就業規則をはじめ甲の職員に適用される規則、規約を遵守せよと、並びに実習期間中に知り得た甲及び甲の生徒、教職員等の職務等を実習期間中、守秘せよとにも実習終了後も他に漏洩させないことを目的として、事前講座の受講及び誓約書の提出を行わせるものとする。

(実習内容)  
第4条 乙は、実習の内容については、甲に一任するものとする。ただし、甲は、実習生に対し、実習開始時に実習内容について説明し、以降の実習においては適宜指導を行うものとする。

(実習の費用)  
第5条 甲は、実習期間における実習生の交通費、食費、その他実習に關連する費用を実習生に支払わない。ただし、甲に支払うべき特段の事情がある場合は、乙の限りではない。

(個人情報取扱)  
第6条 甲は、実習の実施にあたり、知り得た実習生の個人情報 (他の情報と容易に照合することができ、それにより実習生を識別することができる情報を含む) について、実習の実施に伴う目的のみに使用してはならない。  
2 甲は、実習終了後、知り得た実習生の個人情報を甲の責任において速やかに削除しなければならない。

(賠償請求)  
第7条 乙は、実習期間中に発生した事故による実習生の損害について、その原因が甲に起因していることが明らかである場合を除き、原則として甲に賠償の責任を負わない。

(実習中の事故等の補償)  
第8条 実習生は「学生教育研究災害傷害保険」(以下、「学生保険等」という。)に加入するものとする。  
2 実習中の事故等により実習生が傷害を負った場合は、学生の加入する学生保険等により補償する。保険の適用に關する必要な情報は、乙が行うものとする。  
3 実習生が甲又は第三者に損害を与えた場合は、法令に従って処理するとともに、必要な補償は実習生が加入する学生保険等により補償する。

(有効期間)  
第9条 この覚書の有効期間は覚書締結の日から実習期間満了の日とする。

(その他)  
第10条 この覚書の解釈に疑義が生じた場合、又はこの覚書に記載のない事項については、甲乙協議の上決定する。

この覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有するものとする。

年 月 日 甲

乙 大阪府吹田市山手町 3丁目3番35号  
関西大学 社会連携部 高大連携センター長  
御田 貴

学生の受け入れが決定しましたら、受入学校・園と本学の間でインターンシップ生派遣に関する「覚書」を取り交わします。

2通送付しますので、1通を本学までご返送ください。

研修先の就業規則の遵守および、研修先で知り得た情報の守秘についての誓約書(⑤⑥)を学生に提出させます。

⑤は受入学校・園に郵送します。

### ⑤ 誓約書(受入学校・園宛)

**誓 約 書**

年 月 日

御中

私は、関西大学「学校インターンシッププログラム」による実習にあたり、受け入れ先学校・園の就業規則をはじめ職員に適用されるその他の規則、規約並びに指示を遵守し、実習に専念いたします。

また、実習実施期間中に入手した機密事項、個人情報については、守秘するとともに、実習中及び実習終了後においても他に漏洩しないことを誓います。

関西大学 学部 学科  
専攻

関西大学大学院 研究科 専攻

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

### ⑥ 誓約書(大学宛)

**誓 約 書**

2022 年 月 日

関 西 大 学 御 中

私は、関西大学「学校インターンシッププログラム」による実習にあたり、受け入れ先学校・園の就業規則をはじめ職員に適用されるその他の規則、規約並びに指示を遵守し、実習に専念いたします。

また、実習実施期間中に入手した機密事項、個人情報については、守秘するとともに、実習中及び実習終了後においても他に漏洩しないことを誓います。

関西大学 学部 学科  
専攻

関西大学大学院 研究科 専攻

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

## インターンシップの実施期間について(業務日報、研修報告書の作成)

インターンシップ生には「⑦業務日報」および「⑧研修報告書」の提出を義務付けております。

「⑧研修報告書」には、受入担当の先生にご記入いただく講評欄を設けておりますので、**お手数ですが、研修終了時に、インターンシップ生へのアドバイスや意見等をご記入いただけますようお願いいたします。**

### ⑦ 業務日報(見本)

**関西大学 学校インターンシップ業務日報**

この報告書は、研修終了後、12月31日までに全ての研修生が提出するものとします。提出の準備書(見本)は、高大連携センター(高専)・総合情報学部ファイル、高専ホームページ「インターンシップ」欄「研修生向け(事務用)」に掲載してあります。提出の準備書は、キャンパスに設置された高大連携センター宛に送ってください。研修生が提出した報告書は、研修生が提出した報告書に添付して送ります。

学部	法学部	学籍番号	法00-01000	氏名	関大 太郎
----	-----	------	-----------	----	-------

研修先学校名

研修日

研修時間

※ 研修時間は、具体的かつ正確に記入してください。特に終了時間を書き忘れることのないようご注意ください。

時 間	業 務 内 容
8 : 20	登校
8 : 30 ~ 8 : 40	朝礼
8 : 40 ~ 9 : 25	国語：音読「いちねんせいのおた」
9 : 25 ~ 9 : 35	休み時間
9 : 35 ~ 10 : 20	算休みの思い出発表
10 : 20 ~ 10 : 30	休み時間
10 : 30 ~ 11 : 15	書写(カタカナ)
11 : 15 ~ 11 : 25	休み時間
11 : 25 ~ 12 : 10	図書(本返却)、算数：持ち物(箱)の説明
12 : 10 ~ 12 : 50	給食
12 : 50 ~ 13 : 10	掃除
13 : 10 ~ 13 : 30	昼休み
13 : 30 ~ 13 : 50	宿題の説明、帰る準備
13 : 50 ~ 14 : 50	児童下校
14 : 50 ~ 17 : 00	報告書まとめ、宿題の丸つけ等
17 : 00	下校

今日、学んだことや所感

1年1組では、休憩時間の終わりのチャイムが鳴ったら席に着いておくという決まりをつくって、休憩時間が終わる5分くらい前になると児童が時計を気にし、「そろそろ戻ろう」と自分たちで気付けることほすごいと思いました。また、少し遅れて教室に戻って来た児童には、他の児童が「もうちょっと早く帰ってこなあんで!」と声を掛けていて、お互いに注意し合う姿勢は、すばらしいと思いました。放課後は算数の宿題のプリントの丸つけをしました。30人分の丸つけをするだけののに40分ぐらいかかり、改めて教師という仕事の大変さがわかりました。授業が終わってもプリントの丸つけや会議、そして次の日の授業の準備等、本当にたくさん仕事があるのだなと思いました。

受入学校・園記入欄

確 認 者 \_\_\_\_\_ 副署長 〇〇〇

業務日報… 研修日ごとに、その日行った業務や所感を記録

### ⑧ 研修報告書(見本)

**関西大学 学校インターンシップ研修報告書**

この報告書は、研修終了後、12月31日までに、全ての研修生が提出するものとします。提出の準備書(見本)は、高大連携センター(高専)・総合情報学部ファイル、高専ホームページ「インターンシップ」欄「研修生向け(事務用)」に掲載してあります。提出の準備書は、キャンパスに設置された高大連携センター宛に送ってください。研修生が提出した報告書は、研修生が提出した報告書に添付して送ります。

学部	法学部	学籍番号	法00-01000	氏名	関大 太郎
----	-----	------	-----------	----	-------

研修先学校名

研修期間  計 日 計 時間 分

研修概要、および全体的な反省点や今後の展望について

以下は研修先ご担当の先生に記入をお願いしてください。  
ご担当の先生から研修生へのアドバイス、大学に対するご意見などご記入いただければ幸いです。

氏 名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

受入担当の先生の講評欄

研修報告書… 研修終了時に研修の概要や全体的な反省点、今後の展望について記入

本書は高大連携センターの HP からダウンロードすることも可能です。

## 学校インターンシップ Web エントリーシステム 利用 ID・パスワード申請書 FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。本用紙のみお送りください。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

### 【2024 年度 学校インターンシップ実習生受入申込みについて】

学校インターンシップ実習生を関西大学から受け入れていただける場合は、学校インターンシップ Web エントリー利用のための ID・パスワードをお送りいたしますので、以下に必要事項をご記入のうえ FAX にて送信ください。

学校・園名 教育委員会名	
ご担当者名	
ご住所	〒 電 話：
ID・パスワード 通知方法 ※1	<input type="checkbox"/> F A X :
	<input type="checkbox"/> メール :

※1) ID・パスワード通知方法のいずれかを選択し、必要事項をご記入ください。

選択いただいた方法にて ID・パスワードのご連絡をさせていただきます。

申込み後、一週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センター (06-6368-1184) までご連絡ください。

**4月18日(木)までにご送信願います。**



F A X 送信方向



切  
り  
取  
り  
線



本書は高大連携センターの HP からダウンロードすることも可能です。

## 2024 年度学校インターンシップ 受入学校・園向け募集説明会 (Zoom 開催) 申込書 FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。本用紙のみお送りください。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

### 【2024 年度学校インターンシップ 受入学校・園向け募集説明会 (Zoom 開催) について】

「2024 年度学校インターンシップ 受入学校・園向け説明会 (Zoom 開催)」に参加いたします。

学校・園名 教育委員会名	
所属・役職	
ご出席者名	(計 名)
ご連絡先	電 話 :
説明会詳細通知先 メールアドレス ※1	メー ル :
希望参加形式	以下より希望する参加形式をご選択ください。 オンラインライブ配信では、質疑応答の時間を予定していますので、 ご都合のつく場合はオンラインライブ配信でのご参加を推奨いたします。 <input type="checkbox"/> オンラインライブ配信 (4月10日 16:30~) + オンデマンド配信 <input type="checkbox"/> オンデマンド配信のみ

※1) ご記入いただいたメールアドレス宛に Zoom ミーティングの詳細および資料等をお送りいたします。

**4月8日(月)までにご送信願います。**



F A X 送信方向





お問い合わせ先

## 関西大学 社会連携部 高大連携センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL. **06-6368-1184** (直通)

FAX. **06-6368-0858**

E-mail : koudai@ml.kandai.jp

関西大学 学校インターンシップ

検索

click!

<https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/>

